

言語の非線形性に着目した連想システムの構築

長野工業高等専門学校電子情報工学科 奥村紀之

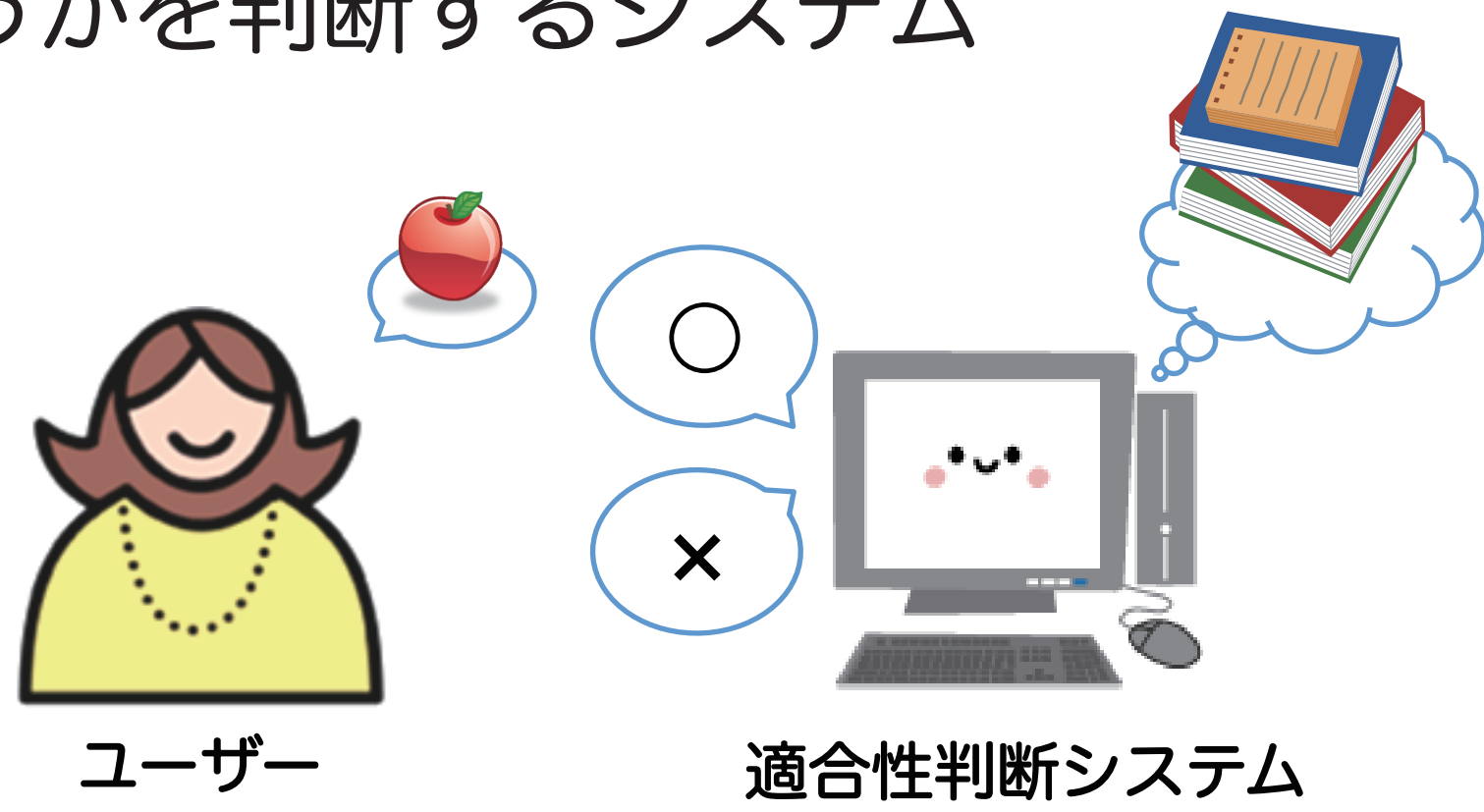
研究概要

本研究は、科研費（課題番号23720222）で採択された内容の一部である。言語の非線形性に着目した対話システムを構築する上で重要となる「選定された話題がどの程度適切であるか？」を判定するための手法について検討している。特に、個人個人によって異なる価値観を持つため、個々に合わせた話題を選定できるかどうかポイントである。

研究内容

提供された話題が、システムが持つ情報に適合しているかどうかを判断するシステム

対話をする上で
連想された話題が
適切か？



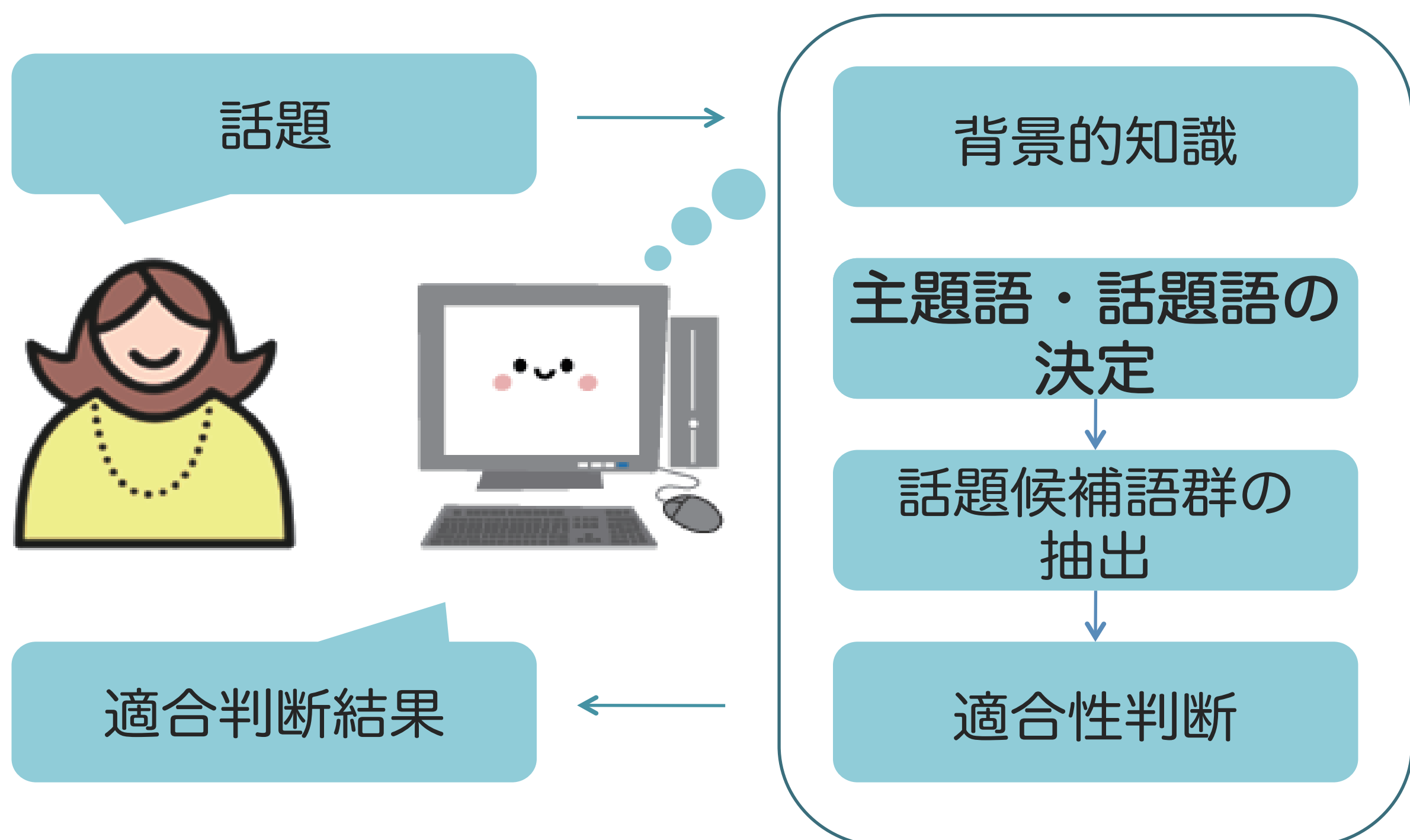
評価実験

背景的知識の代用として、ニュース・コラム・教科書をコンピュータに付与し、下記の観点で評価データを作成

1. 文章中の単語を含めた、文章に確実に関係がある話題
2. 文章中の単語から連想できる単語を含めた、文章に関係がある話題
3. 文章中の単語から連想した単語から、さらに連想できる単語を含めた文章には関係がない話題
4. 文章に全く関係のない話題

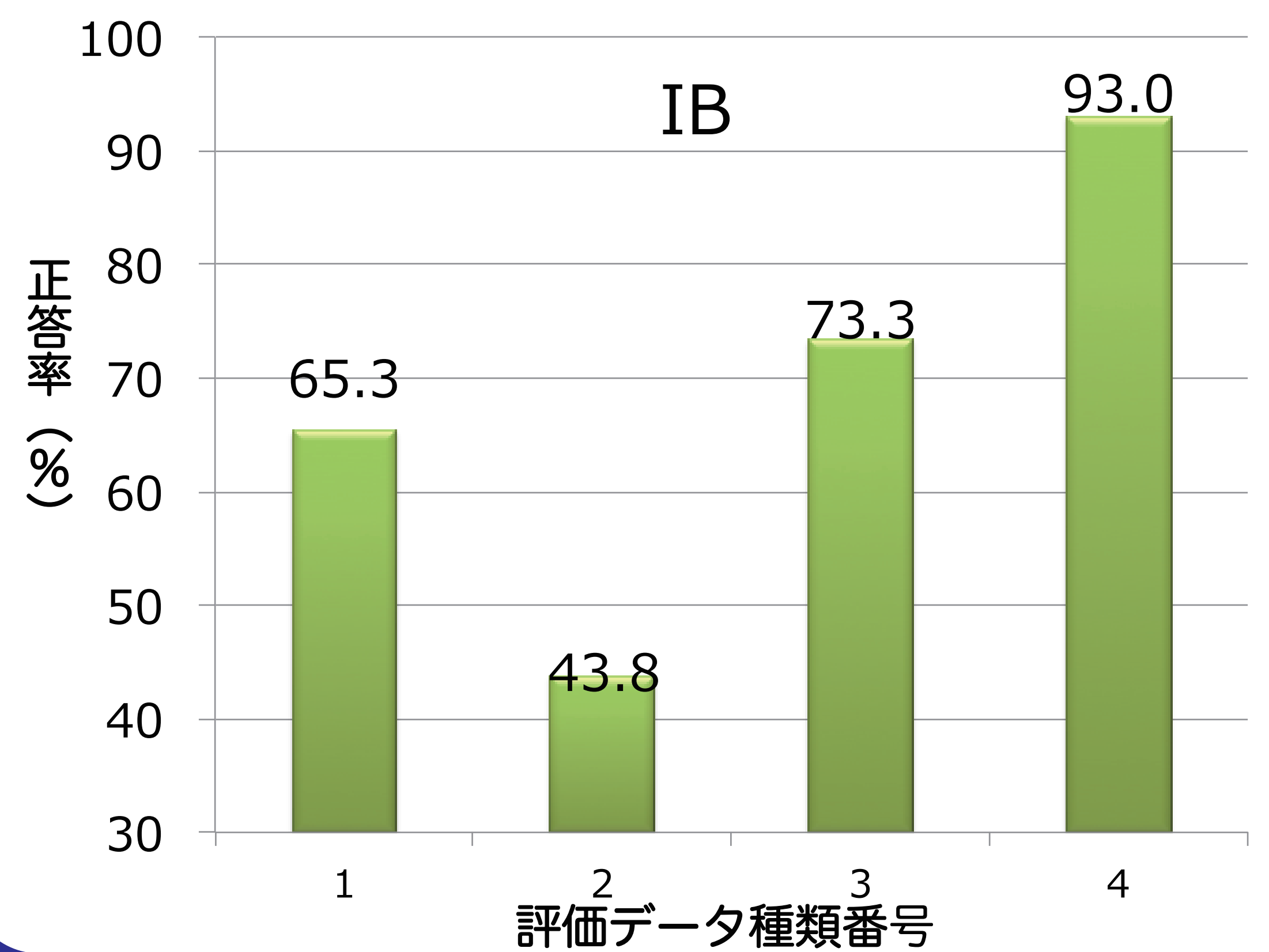
72名の被験者からアンケートによりデータを作成
被験者以外の4名に正否の判定をさせ、4名中3名が正解とみなしたデータ1073個について評価

システムの構成

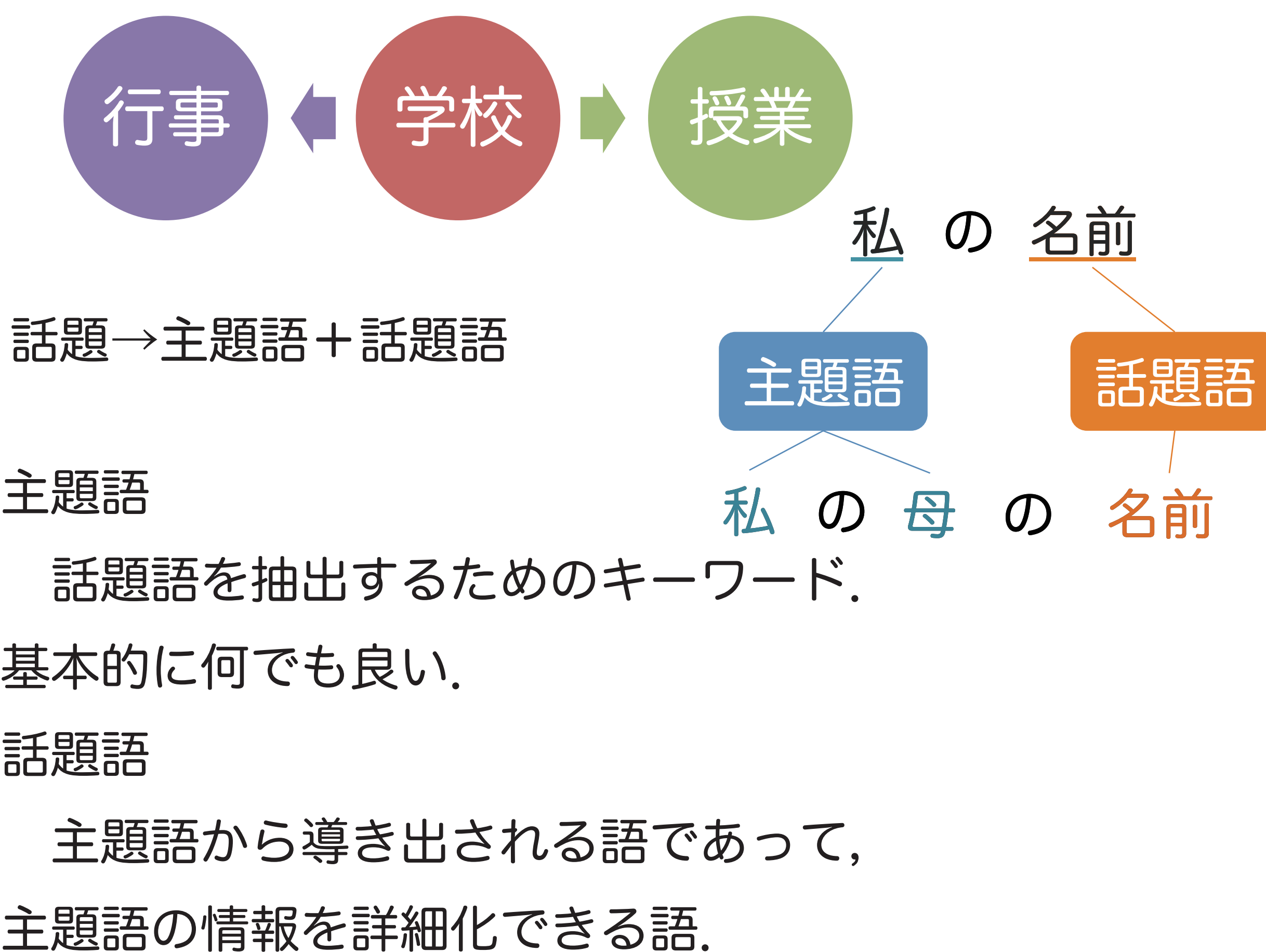


評価結果

主題語・話題語を係り受け解析により抽出し、話題語に主題語の類義語も含めた場合の評価結果が最良



話題の定義



まとめ

連想語を含めた文章に関係のある話題について判定がうまくできていない。

未知語を適切に解釈できていないため、適 / 不適の判定にミスが出ている。

連絡先

E-mail : noriyuki_okumura@ei.nagano-nct.ac.jp

URL : <http://www.facebook.com/nori.okumura>

評価に使用した文献

「市の組織作り、ぜひお知恵を」：2007年 読売新聞

「ない不便は本当に不便か」大平 一枝

「大造じいさんとガン」：作品別「読みの術語」事典